

報知 ボーイズリーグ

第39回九州大会予選 中学生の部

岡田の好救援光った

準優勝の八幡南は、決勝進出で2年連続となる九州大会出場を決めた。

準決勝では、2-1で上津役との接戦を制した。春本健太、岡田頼和の継投で最少失点に抑え、同点の6回に2死二塁から立石隼士

が中前に運んで勝ち越した。この試合でチーム唯一のマルチ安打を記録した立石は「足を使って思い切り振ることを意識して調子は良かった。6回は、来た球をしっかりと打つことだけを考えた」と振り返った。

山口防府との決勝は、1回に吉永遼真の三塁打を足がかりに1点を先行したが、直後に3点を奪われた。2番手の岡田と3番手の春田晃成が踏ん張り、2回以



▲▲ 準決勝と決勝で好救援した八幡南・岡田



準決勝の6回、決勝適時打を放つ八幡南・立石

降は無失点だったが、及ばなかった。2戦続けて好救援した岡田は「変化球に切れがあり、直球にも勢いがあった。自分の仕事ができたと語った。

好機を作りながら得点につなげられない場面も多かっただけに、山本裕史監督代行は「バントの失敗や走塁ミスが目立った。基礎からやり直さないと、勝てる試合も勝てない」と巻き返しを誓った。

八幡南準優勝



準優勝した八幡南

秋の九州王者を争う「第39回九州大会」(中学生の部)の支部予選が各地で行われ、出場チームが次々に決まっている。出場2枠の北九州支部は、山口防府ボーイズと八幡南ボーイズ、大分県支部は湯布院ボーイズと大分

明野ボーイズが代表になった。九州大会は11月に福岡県田川市とその周辺で開催され、9支部の代表16チームが出場する。(司削 大輔) ※福岡県北、福岡県南、熊本県、鹿児島県支部予選の結果は後日掲載。

▼2回戦

八幡南 3 2 2 0 0 4
山口 0 0 1 1 2 0 4 11

(6回コールド)

【南】猪口、春本、岡田―崎門【山】三浦、内藤―松下―野田(南) 崎門(南) 三浦2(山)

▼準決勝

上津役 0 0 0 1 0 0 0
八幡南 0 0 1 0 0 1 X 2 1
【上】本田―齊藤【南】春本、岡田―崎門

▼決勝

八幡南 1 0 0 0 0 0 0
山口防府 3 0 0 0 0 0 X 3 1

【南】猪口、岡田、春田―崎門【防】上杉、橋本―岸田―吉永(南) 泉